

## 子育て・子育て支援の充実

### 1 目指す姿

目指す姿	安心して子どもを生み、育てやすい子育て・子育ての支援体制が整っており、子どもとその家族が生き活きと暮らしています。未来を担う子どもたちが尊重され、心身ともに健やかに大人へと成長していきます。
------	---

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

#### （1）子育て支援

<主な事業名・取組>

➤保育サービスの推進、子育てプロモーションの推進、ひとり親家庭の自立促進

- ・ 保育所、学童保育所の整備促進（平成25年度以前）
- ・ 子育て情報モバイルサイト「はち☆ベビ」を開設（平成26年度）
- ・ 母子家庭等就業・自立支援センター事業を開始（平成27年度～）
- ・ 市役所本庁舎内へ保育園設置（平成28年度）
- ・ 「子ども・若者育成支援計画」を策定（令和元年度）

<今後の課題>

- ・ 子育て支援が必要な方に、適切な情報を届けるため、SNSなど様々な媒体を活用した情報発信に努めるとともに、市外の子育て世帯に対しても、子育てプロモーションを推進
- ・ ひとり親世帯に対して、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえた就業支援、生活支援等の充実
- ・ 保育施設及び学童保育所の待機児童を解消するため、地域ごとの保育需要の把握を行い、定員の弾力的な運用や、利用者への支援を充実
- ・ すべての児童の安全・安心な放課後の居場所を確保するとともに、多様な活動の場に参加できるよう、学童保育所と放課後子ども教室の一体的な実施を推進
- ・ 子どもを持ちたいという希望が叶う社会や環境整備を推進

#### （2）子育て支援

<主な事業名・取組>

➤幼児教育・保育センターの運営、若者問題対策

- ・ 八王子版ネウボラを開始（平成28年度～）
- ・ 「いじめを許さないまち八王子条例」を制定（平成28年度）
- ・ 「幼児教育・保育センター」を開設（令和2年度）
- ・ 「若者総合相談センター」開設（令和2年度）

<今後の課題>

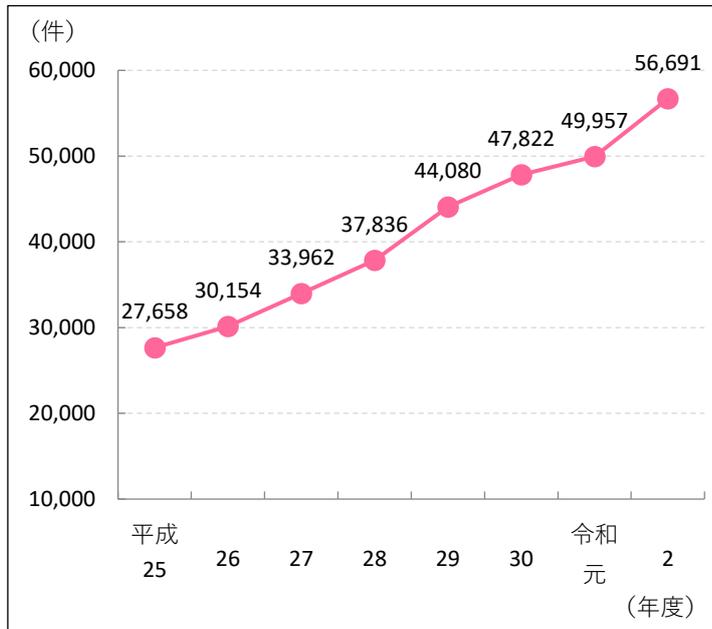
- ・ 若者の社会的自立を図るため、若者総合相談センターと、八王子若者サポートステーションをはじめとした他の支援機関との連携による地域としての支援力向上
- ・ 幼児期における教育・保育の質の向上を推進するとともに、一人ひとりの発達の特性に合った育ちを支援する八王子版ネウボラのさらなる推進

### 3 施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	安心して子育てができていると感じている市民の割合	↑	19.5% (平成22年度)	55.7% (令和2年度)	60%	89.4

■ データ

子育ての悩みに関する相談件数



## 地域で子どもを育てる環境づくり

### 1 目指す姿

目指す姿	安心して子育てができるよう、地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支えています。子どもたちは地域の一員として様々な人とかかわりながら、多様な価値観を学び大人へと成長していきます。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

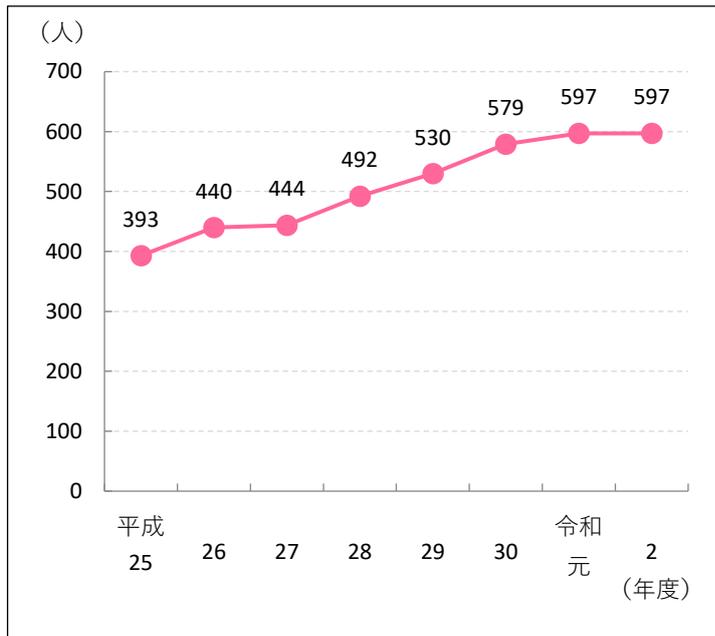
(1) 親や子どもが育つ場の充実	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤放課後子ども教室、子育て親子支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会の新設を支援（平成27年度～）</li> <li>赤ちゃんふれあい事業を開始（平成28年度～）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんふれあい事業や子ども食堂等の取組の推進による、子どもたちが幅広い世代とふれ合える機会と居場所の拡大</li> <li>新たな生活様式に対応した、子育て支援に関する地域活動や団体活動等のオンライン等の実施手法の充実</li> <li>すべての児童の安全・安心な放課後の居場所を確保するとともに、多様な活動の場に参加できるよう、学童保育所と放課後子ども教室の一体的又は連携した実施を推進</li> </ul>	
(2) 地域のネットワークづくり	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤地域の子育て支援ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で子どもを育む団体を支援（平成30年度～）</li> <li>子ども食堂の運営を支援（令和元年度～）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政や地域、団体が取り組む支援内容の積極的な発信</li> <li>地域で子育て・子育てを支えたいと考える市民やNPO、企業、大学などの活動を充実させるため、人材の発掘・育成、連携活動支援など新たな仕組みが必要</li> </ul>	

### 3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合	↑	32.7% (平成22年度)	48.3% (令和2年度)	60%	57.1
②	子育て応援団Beeネットの登録者数	↑	377人 (累計) (平成23年度)	597人 (累計) (令和2年度)	570人 (累計)	114.0
③	子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数	↑	22校 (平成28年度)	19校 (令和2年度)	37校 (全校区)	-

■ データ

子育て応援団Beeネット登録者数



## 生きる力を育む学校教育

### 1 目指す姿

目指す姿

「確かな学力」、「豊かな人間性や社会性」、「健康や体力」を育むとともに、それらを支える「食」に関する教育が推進され、子どもたちが意欲を持って学び生き生きと成長しています。

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

#### （1）学ぶ意欲と確かな学力を育む教育

＜主な事業名・取組＞

➤学力向上、国際理解教育の推進、教員の資質向上

- ・外国語指導助手の配置時間数を拡大（平成28年度）
- ・アシスタントティーチャーの配置人数を増員（平成29年度）
- ・多言語対応双方向通訳デバイスを導入（令和元年度）
- ・プログラミング教育を推進（令和2年度～）
- ・児童・生徒1人1台の学習用コンピュータの配備（令和2年度）

＜今後の課題＞

- ・八王子市版GIGAスクール構想に基づき、1人1台の学習用コンピュータを活用し個別最適化された学習機会を提供することによる学力向上に向けた取組の推進
- ・児童・生徒の発達段階に応じたきめ細かい指導を行うための、市内全校における小中一貫教育・義務教育学校の推進

#### （2）豊かな人間性・社会性を育む教育

＜主な事業名・取組＞

➤奨学金の支給、給食センターの整備、いじめ防止対策、がん教育の推進

- ・「いじめを許さないまち八王子条例」を制定（平成28年度）
- ・「いじめの防止等に関する基本的な方針」を策定（平成29年度）
- ・給食センター方式による中学校給食を提供開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

- ・望ましい食習慣を確立するための中学校給食をセンター方式により充実、地場食材を活用した魅力ある学校給食の充実及び食育の推進
- ・児童・生徒が社会の一員として自立できるよう、市内企業や高校、特別支援学校等の関係機関と連携し、キャリア教育を推進
- ・いじめ防止の総合対策を効果的に進める仕組みの構築

#### （3）一人ひとりのニーズに応じた教育

＜主な事業名・取組＞

➤登校支援ネットワークの整備、家庭との連携

- ・八王子市総合教育会議を開催（平成27年度）
- ・スクールソーシャルワーカーの配置数の増員（平成29・令和元・令和2年度）
- ・学校心理士スーパーバイザーによる相談体制を構築（令和元年度）
- ・スクールロイヤーの配置（令和元年度）

＜今後の課題＞

- ・学校が組織的に不登校やいじめ防止対策に対応する、解決に向けた実行力のある取組の検討
- ・学校・家庭・地域が連携して、児童・生徒を支える仕組みの検討

#### (4) 特別支援教育の充実

<主な事業名・取組>

➤特別支援教育

- ・特別支援教室を全小・中学校に配置（平成30・令和2年度）

<今後の課題>

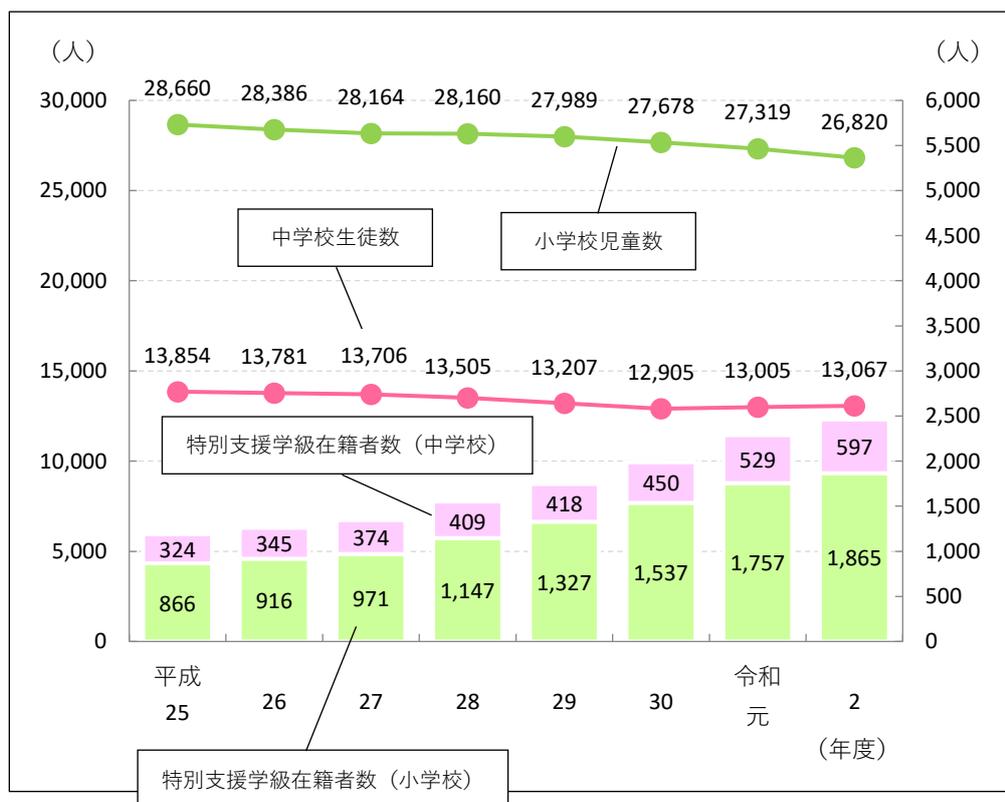
- ・特別支援教育の推進と通常学級に在籍している児童・生徒1人ひとりの状態に応じた配慮に基づく授業の組み立て

### 3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	意欲を持って授業に臨んでいる児童・生徒の割合	↑	80.7% (平成22年度)	86.6% (令和2年度)	95%	41.3
②	不登校児童・生徒数及び出現率	↓	498人/年 (1.2%) (平成28年度)	1,147人/年 (2.87%) (令和2年度)	340人/年 (0.85%)	-

#### ■データ

##### 小・中学校の児童・生徒数と特別支援学級の児童・生徒数



## 地域とつながる学校づくり

### 1 目指す姿

目指す姿	学校と地域が一体となって地域の子どもたちを育てています。また、学校づくりにかかわることで、大人たちのつながりが生まれ、住民が地域づくりの担い手として活躍しています。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

(1) 地域の力を活かした学校づくり	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤子どもの安全対策、地域運営学校の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールガード・リーダーによる巡回指導（平成25年度以前）</li> <li>・教育支援人材バンク学校事務局を全校設置（平成29年度）</li> <li>・全小中学校で校門への防犯カメラ設置完了（平成30年度）</li> <li>・学校運営協議会を全校設置（令和元年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民をはじめ、企業、大学、NPOなど各種団体と連携し、教育効果が期待できる取組を推進</li> <li>・学校運営協議会の機能を強化するための、担い手の確保及び各学校間の情報共有</li> <li>・地域に開かれ、地域の特性を高める学校づくりを担う人材の発掘・育成</li> </ul>	
(2) 地域の力を高める学校づくり	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤家庭教育支援活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域が連携した防災訓練を実施（平成25年度以前）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を地域の拠点としていくため、学校で行う災害時の避難所運営訓練や防災訓練など、学校と地域が一体となって実施する取組の拡充</li> </ul>	

### 3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
①	学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合	↑	39.1% (平成28年度)	42.0% (令和2年度)	60%	13.9
②	学校と地域が連携して行う取組の数	↑	29,481 回/年 (平成23年度)	32,562 回/年 (令和2年度)	62,700 回/年	9.3

#### ■データ

##### 地域運営学校数（学校運営協議会設置校数）

(校)

区分	平成25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)
小学校	21	26	30	36	57	65	70	69
中学校	16	18	20	20	31	35	38	37
義務教育学校								1
総計	37	44	50	56	88	100	108	107

## 学びやすい教育環境づくり

### 1 目指す姿

目指す姿	児童・生徒が良好な学習環境で学んでいます。また、教員の指導環境が向上し、教員が児童・生徒一人ひとりに向き合い、教育環境が充実しています。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

#### （1）豊かな学びに資する教育環境の充実

<主な事業名・取組>

➤学校施設の営繕工事、学校図書館サポート、部活動の推進

- ・「学校図書館サポートセンター」を設置（平成27年度）
- ・部活動指導員を配置（平成30年度）
- ・全小中学校の書画カメラ・プロジェクタを更新（令和2年度）

<今後の課題>

- ・学校司書や部活動指導員の取組状況を検証し、外部人材の更なる活用を検討
- ・地域づくり推進事業と連携しモデル地区における学校施設をはじめとした公共施設の再編を検討
- ・少子化の影響を踏まえた通学区域の見直しや学校再編を検討

#### （2）教育指導環境の整備

<主な事業名・取組>

➤教員研修・教員の資質向上

- ・中核市として本市の特色を活かした教員研修を実施（平成27年度～）
- ・「八王子市教員育成研修基本方針」を策定（平成27年度）
- ・教員の児童・生徒と向き合う時間の確保のため校務支援システムを導入（平成28年度）
- ・「八王子市立小・中学校における働き方改革推進プラン」を策定（平成30年度）

<今後の課題>

- ・教員が児童・生徒に向き合う時間を確保するため、さまざまな角度からの負担軽減策を検討

#### （3）学校のICT化の推進

<主な事業名・取組>

➤情報教育の基盤整備

- ・「第2次教育情報化推進プラン」を策定（平成29年度）
- ・GIGAスクール構想による児童・生徒1人1台の学習用コンピュータの配備及び校内通信ネットワークの整備を完了（令和2年度）

<今後の課題>

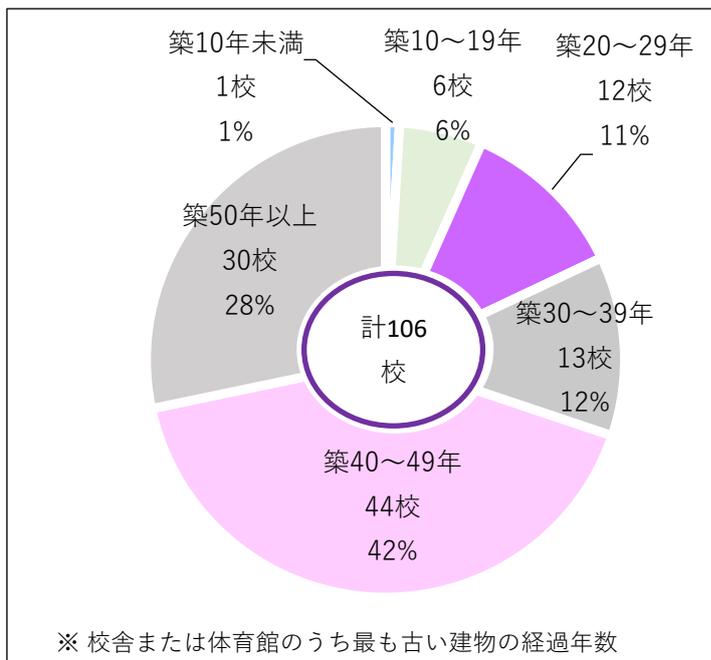
- ・GIGAスクール構想に基づき配備した児童・生徒1人1台の学習用コンピュータを活用し、オンライン授業、家庭学習、教育相談などの取組を充実
- ・教員のICT活用指導力の向上

### 3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
				令和4年度	
①	子どもたちに対し適切に教育できる環境と 感じている保護者の割合	↑	76.4%	90%	11.8
			(平成23年度)		

#### ■ データ

##### 経年別学校数



## 市民がつながる生涯学習

### 1 目指す姿

目指す姿	誰もが、いつでも、どこでも学習できる環境整備がすすみ、生涯学習を起点とした人とひととの交流やつながりが生まれています。そして、学んだ知識や経験が家庭・学校・地域で活かされ、一人ひとりの生きがいとなっています。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

(1) 生涯学習環境の充実	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤学園都市大学の運営、生涯学習の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市民自由講座」や「八王子学園都市大学」「はちおうじ出前講座」など、子どもから高齢者まで幅広い世代に対してニーズを捉えた講座を提供（平成25年度以前）</li> <li>「生涯学習コーディネーター養成講座」や「はちおうじ志民塾」など、地域社会への参加意識を高める取組や地域活動のきっかけ作りとなる事業を展開（平成25年度以前）</li> <li>市制100周年にあわせてこども科学館をリニューアルオープン（平成29年度）</li> <li>講座情報を一元化したアプリ（通称「はちリカ」）を構築（令和2年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動の促進を図るため構築した講座情報提供アプリの充実</li> <li>企業や大学などと連携し、人生100年時代の学び直し（リカレント教育）を支援する教育支援アプリでの講座情報を発信し、身近なところで学べる環境を整備</li> </ul>	
(2) 図書館機能の充実	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤読書のまち八王子の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区図書室の図書館化（平成27・平成30・令和元年度）</li> <li>電子書籍を導入（平成30年度）</li> <li>学校図書館とのシステム連携（平成31年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の非来館型サービスの充実やパークライブラリー等、「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備</li> </ul>	
(3) 学習成果を活かせる制度の充実	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤生涯学習の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習フェスティバルを実施（平成25年度以前）</li> <li>生涯学習コーディネーター養成講座を実施（平成25年度以前）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リカレント教育に必要な学習機会を提供し、生涯にわたって必要な知識・技能を身に付け、その成果を生活や地域での活動により一層活かすことができる環境づくり</li> </ul>	

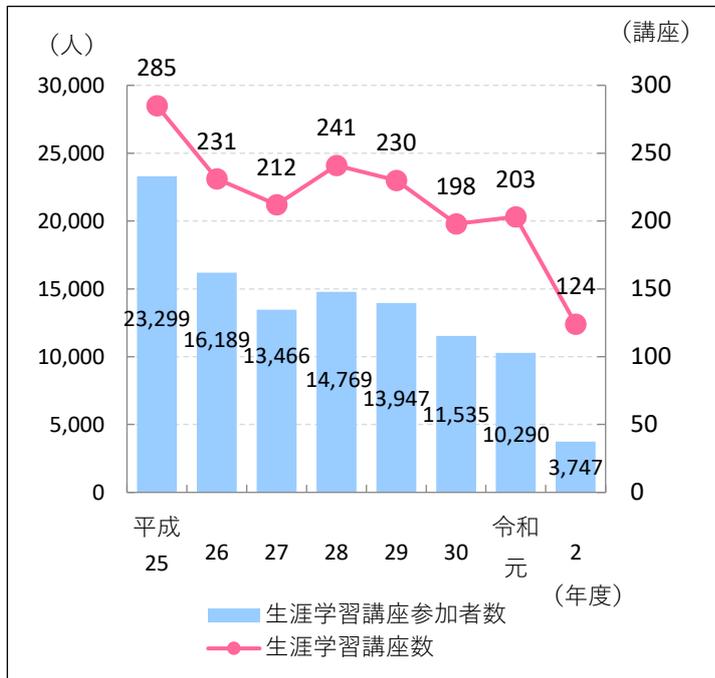
### 3 施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
				令和4年度	
① 生涯学習活動をしている市民の割合	↑	71.3% (平成23年度)	55.7% (令和2年度)	90%	-

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標		設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度	
				令和4年度		
②	生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合	↑	11.1%	6.1%	40%	-
			(平成22年度)	(令和2年度)		

■ データ

生涯学習センターの講座数・参加者数



## 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション

### 1 目指す姿

目指す姿	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、楽しんでいます。そして、スポーツ・レクリエーションが充実した生活の一部として定着し、市民が生涯を通じ健康で生き活きと暮らしています。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

#### (1) スポーツ・レクリエーションの振興

<主な事業名・取組>

➤スポーツ・レクリエーションの推進、総合型地域スポーツクラブの活動支援

- ・東京2020大会機運醸成イベントを開催（平成28年度～）
- ・IFSCボルダリングワールドカップ八王子等の国際大会開催支援（平成29～令和元年度）
- ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催（令和元年度）
- ・ボッチャの派遣指導を開始（令和元年度～）

<今後の課題>

- ・スポーツ実施率が低い働き盛り世代等に重点を置いた取組の推進
- ・平均寿命が延びている中で生きがいつくりの観点から、健康寿命の延伸につながるスポーツ・レクリエーション施策の検討
- ・地域住民の自主的・主体的な運営が前提となっている総合型地域スポーツクラブにおける人材・財源等の確保
- ・パラスポーツにおける指導者及びボランティアの養成

#### (2) スポーツ・レクリエーション環境の整備と活用

<主な事業名・取組>

➤屋外運動施設の管理運営

- ・富士森体育館の大規模改修を実施（平成25～27年度）
- ・総合体育館（エスフォルタアリーナ八王子）を開設（平成26年度）
- ・富士森公園陸上競技場（東京フットボールセンター八王子富士森競技場）をリニューアルオープン（令和2年度）

<今後の課題>

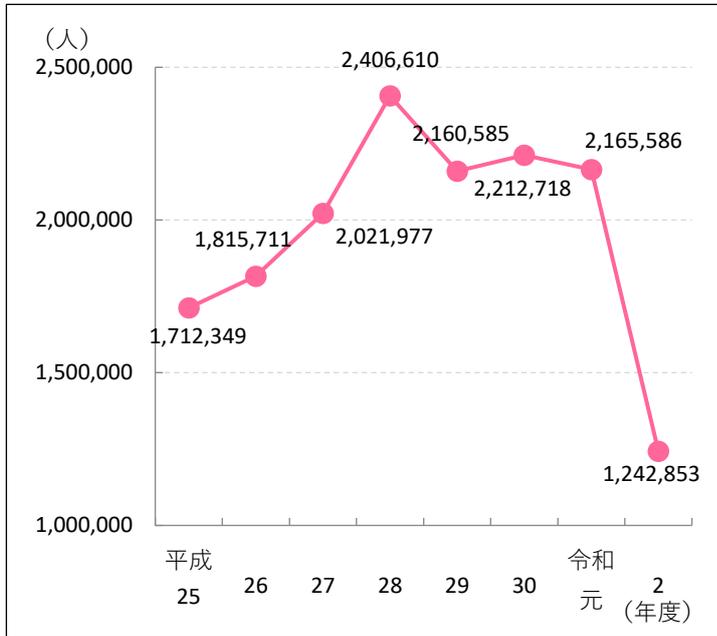
- ・甲の原体育館の機能拡充や上柚木公園陸上競技場の改修、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支えるための環境整備

### 3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	週1回以上運動をしている成人の割合	↑	29.9% (平成23年度)	64.1% (令和2年度)	67%	92.2
②	総合型地域スポーツクラブの数	↑	19団体 (平成23年度)	19団体 (令和2年度)	27団体	-

■ データ

市スポーツ施設利用者数



## 豊かな心を育む市民文化の振興

### 1 目指す姿

目指す姿	市民が文化に親しみ、また主体的な文化活動が行われることにより、文化活動の輪が広がり、豊かな心が育まれています。
------	---

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

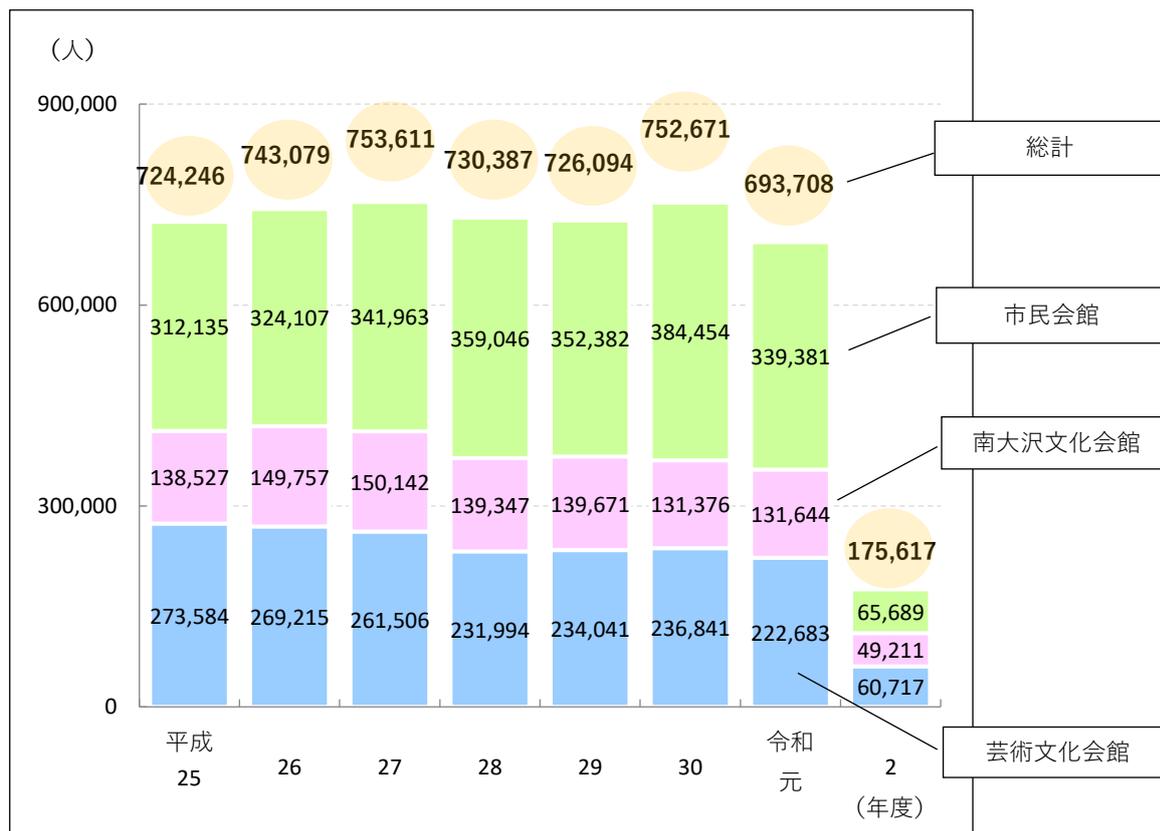
<b>(1) 文化芸術活動の支援</b>	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤文化芸術の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化芸術ビジョン」を策定（平成28年度）</li> <li>・「文化芸術振興条例」を制定（平成29年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の文化芸術活動を支えるための環境整備</li> </ul>	
<b>(2) 文化芸術の担い手の育成</b>	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤文化芸術の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化ふれあい事業（平成25年度以前）</li> <li>・市制100周年記念事業「文化芸術フォーラム」の開催（平成29年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の文化芸術の担い手を育成する取組の充実</li> </ul>	
<b>(3) 八王子の魅力を高める文化芸術の振興</b>	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤文化芸術活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京交響楽団パートナーシップ事業を開催（平成26年度～）</li> <li>・「多摩伝統文化フェスティバル」を開催（平成28年度～）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式による新たなニーズに対応するため、オンライン配信設備を整備し、本市文化芸術の魅力を発信するなど、誰もが文化芸術に触れることができる環境の整備</li> </ul>	

### 3 施策に対する指標

	指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
				令和4年度	
① 定期的に文化芸術活動に参加している市民の割合	↑	56.2% (平成23年度)	28.9% (令和2年度)	60%	-

■ データ

芸術文化会館・南大沢文化会館・市民会館の利用者数



## 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承

### 1 目指す姿

目指す姿	文化・歴史・伝統の学びを通じて、誰もが八王子に誇りと愛着を感じ、八王子の歴史と伝統文化が次世代へ継承されています。
------	---

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

(1) 文化遺産等の保存・活用	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤歴史を活かした魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制100周年記念事業「新八王子市史」の全巻刊行を完了（平成28年度）</li> <li>・「歴史文化基本構想」を策定（令和元年度）</li> <li>・「日本遺産」認定（令和2年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化基本構想に実施計画を加えた「文化財保存活用地域計画」を作成し、国の認定を目指すとともに、計画に基づいて地域全体で継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を推進</li> <li>・桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）から市内外に本市の日本遺産の魅力を発信するなど、日本遺産を活用した「歴史文化を活かしたまちづくり」を推進</li> </ul>	
(2) 伝統芸能の継承	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤伝統芸能の保存継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「八王子車人形調査報告書」を完成（令和元年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で保存・継承されている貴重な歴史文化資源が、人口減少や少子高齢化等による継承者不足で滅失・散逸等することを防ぐための対策を検討</li> <li>・「八王子車人形」について重要無形民俗文化財としての国指定に向けて、継続的な調査や価値・魅力の発信を推進</li> </ul>	
(3) 歴史と伝統文化を継承する場の充実	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤国史跡八王子城跡の保存整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国史跡八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」を策定（平成29年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子の魅力の再発見につながる新郷土資料館のオープンに向けて、郷土史についての理解を促進する魅力ある展示内容を検討</li> </ul>	

### 3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
①	1年間のうちに伝統行事に参加したことの市民の割合	↑	23.0% (平成22年度)	18.8% (令和2年度)	50%	-
②	文化財関連施設の利用者数	↑	37,347人/年 (平成23年度)	70,930人/年 (令和2年度)	100,000人/年	53.6

## 多様な文化交流の推進

### 1 目指す姿

目指す姿	国内・海外友好都市との文化交流により、互いに都市の魅力が広く住民に理解されています。また、市民・企業の間で、多様な文化交流が広がっています。
------	--

### 2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

(1) 都市間文化交流の推進	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤海外都市との交流、姉妹都市交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友好交流事業補助金により大学などが行う自主的な都市間文化交流を促進を支援（平成25年度以前）</li> <li>・小田原市、寄居町と姉妹都市盟約を締結（平成28年度）</li> <li>・ドイツ ヴリーツェン市と海外友好交流協定を締結（平成29年度）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外友好交流都市をより多くの市民に知ってもらう機会の充実</li> <li>・姉妹都市交流のさらなる充実を図るため、各姉妹都市の特色を活かした新たな交流の検討</li> </ul>	
(2) 国際理解の推進	
<p>&lt;主な事業名・取組&gt;</p> <p>➤多文化共生意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多文化共生推進プラン」を改定（平成29年度）</li> <li>・在住外国人サポートデスクの拡充、多文化共生啓発のための動画・リーフレットを作成（令和元年度）</li> <li>・英語・中国語による公式Facebookページを開設（令和2年度～）</li> </ul> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子国際協会との連携を強化し、交流イベント等による多文化共生意識の啓発</li> <li>・外国人市民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設や多様性と包摂性のある社会実現の動きなど社会経済情勢の変化に応じた対策を検討</li> </ul>	

### 3 施策に対する指標

		指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標	設定時の値	現状値	目標値	進捗度
					令和4年度	
①	市や八王子国際協会が開催する事業への参加者数	↑	7,496 人/年 (平成23年度)	4,302 人/年 (令和2年度)	9,700 人/年	-
②	海外友好交流都市を知っている市民の割合	↑	38.6% (平成28年度)	32.6% (令和2年度)	50%	-

■ データ

外国人登録者と人口



※各年12月末日現在